

整理番号

平成26年度 郡山市労働基本調査票

調査票記入についてのお願い

- 調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることはありませんので、ありのままにご記入ください。
- **特にことわりのない限り、10月1日(水)現在でご記入ください。**
- 調査票の記入に当たっては、**鉛筆を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。**
なお、記入に際し、○印で処理できる項目は、該当する番号を○で囲み、文字または数字を記入する項目は、ハッキリとお書きください。
- 会社全体ではなく、**この調査票の送付先である貴事業所のみ**の現況について記入してください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れ、**平成26年11月28日(金)まで投函**してください。

所在地	〒	記 入 者	所 属
			(ふりがな)
事業所名			氏 名
			電 話

1 事業所

〔問1〕 事業所の業種について、該当する番号を○で囲んでください。

(○印は一つだけ：複数業種にまたがる場合は主要な業種一つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|--------|
| 1. 建設業 | 4. 卸・小売・飲食業 | 7. その他 |
| 2. 製造業 | 5. 金融・保険業 | |
| 3. 運輸・通信業 | 6. 不動産業 | |

〔問2〕 就業規則はありますか。(○印は一つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

〔問3〕 労働組合はありますか。(○印は一つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

〔問4〕 労働協約はありますか。(○印は一つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

↓
【労働協約が「ある」と答えた事業所のみ】

◆労働協約に記載のあるものをお答えください。(○印はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 時間外労働に関する協定 | 3. 福利厚生等に関する協定 |
| 2. 安全衛生に関する協定 | 4. その他 |

[労働基本調査票・2]

2 従業員

- ・正規従業員とは、正職員及び正社員をいいます。
- ・臨時とは、繁忙期に一時的に雇い入れられ、数日～数か月単位の短期間雇用を前提とした者をいいます。
- ・パートタイマーとは、1週間の所定労働時間が通常の従業員より短い者をいいます。
- ・人材派遣者等とは、人材派遣会社から派遣されている者及びその他の従業員をいいます。
- ・役員の方は従業員から除いてください。

〔問5〕 従業員数についておたずねします。（数値を記入）

	正規従業員		臨時（含アルバイト）	パートタイマー	人材派遣者等	合計
		うち障がい者				
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人

〔問6〕 過去1年間に正規従業員で採用、または退職した人数をおたずねします。（数値を記入）

採用者数				退職者数		
新規学卒者	高年齢者	障がい者	その他	定年	自己都合	事業主都合
人	人	人	人	人	人	人

- ※ 高年齢者とは年齢が55歳以上の方です。
- ※ 障がい者とは身体障害者（障害者手帳や医師の診断書により障がいの程度が1級～6級（7級の障害を2以上重複して有する方も含む）に該当する方）、知的障害者（知的障がい者判定機関で判定された方）や精神障害者（精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方）をいいます。

〔問7〕 平成25年10月1日から平成26年9月30日までの期間内に求人を行いましたか。
（○印は一つだけ）

1. 行った 2. 行っていない



【「行った」と答えた事業所のみ】

- ◆求人した雇用形態は（○印はいくつでも）
- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 正規従業員（雇用期間の定めがない従業員） | 3. 派遣労働者 |
| 2. パート・アルバイト等 | 4. その他 |
- ◆求人した人材は（○印はいくつでも）
- | | |
|---------|-------------|
| 1. 有資格者 | 3. 資格・経験等不問 |
| 2. 経験者等 | 4. その他 |
- ◆求人の数に対して雇用の割合は（○印は一つだけ）
- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 求人と同人数の雇用が出来ている | 5. 3～4割程度 |
| 2. 8～9割程度 | 6. 2割以下 |
| 3. 6～7割程度 | 7. 雇用は出来ていない |
| 4. 5割程度 | |

〔問8〕 平成23年度から25年度に、正規従業員で採用した新規学卒者の採用人数と採用された後に離職した人数をおたずねします。

(1) 平成23年度 (数値を記入)

			中学卒	高校卒	短大 (高専)卒	大学卒
採用者	23 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
うち 離職者	23 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
	24 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
	25 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人

(2) 平成24年度 (数値を記入)

			中学卒	高校卒	短大 (高専)卒	大学卒
採用者	24 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
うち 離職者	24 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
	25 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人

(3) 平成25年度 (数値を記入)

			中学卒	高校卒	短大 (高専)卒	大学卒
採用者	25 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人
うち 離職者	25 年度	男性	人	人	人	人
		女性	人	人	人	人
		計	人	人	人	人

[労働基本調査票・4]

〔問9〕 若年者（新卒）の定着率を向上させるための取組を行っている場合、記入してください。

（具体的な取組の内容）

【取組を行っている事業所のみ】

- ◆その取組によって、求人に対する応募状況への影響は（○印は一つだけ）
1. 応募は増加した 2. 応募は減少した 3. 応募は変わらない

3 就労実態

〔問10〕 正規従業員の平成26年9月の賃金等についておたずねします。（数値を記入）

	平均年齢	平均勤続年数	平均所定内賃金（9月分）	平均所定外賃金（9月分）
男性	歳	年	1人当たり 円	1人当たり 円
女性	歳	年	1人当たり 円	1人当たり 円

所定内賃金・・・労働協約・就業規則や事業所の給与規則などにより、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与をいいます。所定外賃金は除きます。（基本給、年齢給、その他通勤手当等諸手当を合計した額）

所定外賃金・・・残業手当、休日出勤手当、宿直手当等をいいます。

〔問11〕 正規従業員の平成25年度中の平均賞与についておたずねします。（数値を記入）

項 目	夏季手当	冬季手当	計
1人当たりの平均支給額	円	円	円

〔問12〕 平成26年4月現在の新規学卒者の採用の有無をおたずねします。（○印は一つだけ）

1. 採用した 2. 採用しない

【「採用した」と答えた事業所のみ】

◆採用人数と初任給をおたずねします（数値を記入）

男性 ※ 事務系、技術系、生産・現業系の定義については、次頁をご参照ください

学歴	区分	事務系		技術系		生産・現業系	
		採用人数	初任給	採用人数	初任給	採用人数	初任給
中学卒		人	円	人	円	人	円
高校卒		人	円	人	円	人	円
短大（高専）卒		人	円	人	円	人	円
大学卒		人	円	人	円	人	円

女性 ※ 事務系、技術系、生産・現業系の定義については、次頁をご参照ください

学歴	区分	事務系		技術系		生産・現業系	
		採用人数	初任給	採用人数	初任給	採用人数	初任給
中学卒		人	円	人	円	人	円
高校卒		人	円	人	円	人	円
短大（高専）卒		人	円	人	円	人	円
大学卒		人	円	人	円	人	円

〔問13〕 現在55歳以上の正規従業員数についておたずねします。（数値を記入）

年齢区分	男性			女性		
	55～59歳	60～65歳	66歳以上	55～59歳	60～65歳	66歳以上
事務系	人	人	人	人	人	人
技術系	人	人	人	人	人	人
生産・現業系	人	人	人	人	人	人

「事務系」とは経理、管理、会計等の事務に従事しているものをいいます。

「技術系」とは化学工業技術者、土木建設技術者、教育、医療保険等に従事する者及び特殊技術を有しているものをいいます。

「生産・現業系」とは製造加工、組立修理工、運転手、営業、販売店員、販売外交員、保険外交員、その他作業員等をいいます。

〔問14〕 定年制度がありますか。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

↓

【定年制度が「ある」と答えた事業所のみ】

◆定年の年齢は（数値を記入）

□ □ 歳まで

◆今後の定年制度の変更予定は（○印は一つだけ）

1. 定年延長の予定 2. 定年制度廃止の予定 3. 変更の予定なし

↓

【「定年延長の予定」がある事業所のみ】

◆定年延長の年齢は（数値を記入）

□ □ 歳まで

〔問15〕 定年後の再雇用制度がありますか。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

↓

【「ある」と答えた事業所のみ】

◆再雇用制度は何歳までですか
（数値を記入）

□ □ 歳まで

↓

【「ない」と答えた事業所のみ】

◆再雇用制度採用の予定は
（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

↓

採用する場合、何歳までですか
（数値を記入）

□ □ 歳まで

〔問16〕 退職金制度がありますか。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

↓

【退職金制度が「ある」と答えた事業所のみ】

◆支給対象は（○印はいくつでも）

1. 正規従業員 2. 臨時 3. パートタイマー 4. その他

[労働基本調査票・6]

〔問17〕 年次有給休暇制度はありますか。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない



【年次有給休暇制度が「ある」と答えた事業所のみ】

◆年次有給休暇の付与日数は (数値を記入)			◆年次有給休暇の利用率は (○印は一つだけ)	
一律付与	勤務年数に応じた付与		1. 10%未満	4. 50~69%
	最高	最低	2. 10~29%	5. 70~89%
			3. 30~49%	6. 90%以上
日	日	日		

〔問18〕 どのような休暇制度を設けていますか。また、制度がある場合、最高何日か記入してください。

(○印はいくつでも) 【制度を設けている事業所のみ】 (数値を記入)

1. リフレッシュ休暇	→	最高	日
2. ボランティア休暇	→	最高	日
3. 研修のための休暇	→	最高	日
4. 配偶者出産休暇	→	最高	日
5. その他の休暇	→	最高	日

〔問19〕 週休制度の実態についておたずねします。

(○印は一つだけ：複数の制度がある場合は主要なもの一つに○)

1. 完全週休2日制 3. 隔週週休2日制 5. 月1回週休2日制
 2. 月3回週休2日制 4. 月2回週休2日制 6. まだ実施していない

〔問20〕 育児休業制度の採用についておたずねします。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない



【育児休業制度が「ある」と答えた事業所のみ】

◆過去1年間の、育児休業制度の“該当者数”は(数値を記入)		
①	男性の該当者数	人
	女性の該当者数	人
◆過去1年間の育児休業制度の“取得者数”は(数値を記入)		
②	男性の取得者数	人
	女性の取得者数	人
◆過去1年間の育児休業制度の“平均取得日数”は(数値を記入)		
③	男性の平均取得日数	日
	女性の平均取得日数	日

〔問21〕 育児短時間勤務制度等の採用についておたずねします。（○印は一つだけ）

1. 定めている 2. 定めていない

【育児短時間勤務制度等が「ある」と答えた事業所のみ】

- ◆最長利用可能期間は（○印は一つだけ）
 1. 満3歳に達するまで 2. 3歳から就学するまで 3. その他
- ◆どのような制度がありますか。（○印はいくつでも）
 また、過去1年間の取得人数を記入してください。
 短時間勤務制度を利用した方については平均短縮時間も記入してください。

		男性	女性
1	短時間勤務制度	人	人
	(平均短縮時間)	分	分
2	フレックスタイム制度	人	人
3	始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	人	人
4	所定外労働の免除	人	人
5	事業所内託児所施設の使用	人	人
6	育児に要する経費の援助措置	人	人
7	その他 ()	人	人

〔問22〕 介護休業制度の採用についておたずねします。 【「ある」と答えた事業所のみ】

(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない

◆過去1年間の利用者数

女性	人	(数値を記入)
男性	人	

〔問23〕 介護休暇制度の採用についておたずねします。 【「ある」と答えた事業所のみ】

(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない

◆介護休暇制度の期間

(○印は一つだけ)

1. 5日 2. 6日以上

〔問24〕 看護休暇制度の採用についておたずねします。 【「ある」と答えた事業所のみ】

(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない

◆過去1年間の利用者数

女性	人	(数値を記入)
男性	人	

〔問25〕 平成26年9月の正規従業員1人当たりの平均所定内労働時間等についておたずねします。（数値を記入）

1日の平均所定内労働時間		1週の平均所定内労働時間		1か月の平均就労日数
時間	分	時間	分	日

※ 所定内労働時間とは、就業規則などで定められてる始業時から終業時までの時間から休憩時間を引いたものをいいます。

[労働基本調査票・8]

〔問26〕 平成26年9月の正規従業員1人当たりの平均所定外労働時間についておたずねします。

1か月の平均所定外労働時間（時間外労働時間）					
男性	時間	分	女性	時間	分

（数値を記入）

〔※ 所定外労働時間とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間をいいます。〕

〔問27〕 ワーク・ライフ・バランスの推進についてどのような取り組みをしていますか。
（○印はいくつでも）

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 所定時間外労働の削減 | 4. 社会活動・ボランティアの促進 |
| 2. 休業・休暇の取得促進 | 5. 特になし |
| 3. 自己啓発や職業能力開発の促進 | 6. その他（ <input type="text"/> ） |

〔※ ワーク・ライフ・バランスとは、男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自らの希望に沿った形でバランスをとりながら展開できる状態のことをいいます。〕

4 雇用計画

〔問28〕 従業員の過不足状況についておたずねします。（○印は一つだけ）

1. 従業員は余っている 2. 従業員は不足している 3. 従業員の過不足はない

【「従業員は不足している」と答えた事業所のみ】

◆従業員数の今後の増員計画は（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

▶ 【「ある」と答えた事業所のみ】

◆増員を予定している雇用形態は（数値を記入）

正規従業員	臨時	パートタイマー	人材派遣者等
人	人	人	人

〔問29〕 今後の中高齢者（正規・パート等）の採用予定についておたずねします。
（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない

【「ある」と答えた事業所のみ】

◆採用予定人数は（数値を記入）

年齢区分	男性			女性		
	55～59歳	60～65歳	66歳以上	55～59歳	60～65歳	66歳以上
事務系	人	人	人	人	人	人
技術系	人	人	人	人	人	人
生産・現業系	人	人	人	人	人	人

〔問30〕 新規学卒者の正規従業員の採用（来年4月）についておたずねします。（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない 3. 検討中

【「ある」と答えた事業所のみ】

◆採用予定人数は（数値を記入）

	中学卒	高校卒	短大（高専）卒	大学卒
事務系	人	人	人	人
技術系	人	人	人	人
生産・現業系	人	人	人	人

〔問31〕 今後の障がい者（正規・パート等）の採用予定についておたずねします。
（○印は一つだけ）

1. ある 2. ない 3. 検討中

↓
【「ある」と答えた事業所のみ】

◆採用予定人数は（数値を記入） 採用予定人数 人

〔問32〕 高齢者や障がい者へ配慮していることがあれば記入してください。
（具体的な取組の内容）

〔問33〕 限定正社員制度を導入していますか。（○印は一つだけ）

1. 導入している 2. 導入していない

※ 限定正社員とは、勤務する場所や時間、業務を限定した社員をいいます。

↓
【「導入している」と答えた事業所のみ】

◆限定内容は（○印はいくつでも）

1. 業務を限定している 3. 勤務時間を限定している
2. 勤務地を限定している

5 パートタイマー・臨時

〔問34〕 パートタイマー・臨時の雇用をしていますか。（○印は一つだけ）

1. 雇用している
2. 雇用していない

・労働条件の1人当たりの平均をおたずねします。
・賃金については、週給・日給の場合は時給に換算してください。
・賞与については、平成25年度中の額をお答えください。

↓
【「雇用している」と答えた事業所のみ】

◆具体的な雇用条件は（数値を記入）

	性別	人数	1日の労働時間		賃金		1か月の就労日数
パート タイマー	男性	人	時間	分	時給	円	日
	女性	人	時間	分	時給	円	日
臨時	男性	人	時間	分	時給	円	日
	女性	人	時間	分	時給	円	日

	性別	1か月の収入	雇用年数		賞与（夏季）	賞与（冬季）
パート タイマー	男性	円	年	月	円	円
	女性	円	年	月	円	円
臨時	男性	円	年	月	円	円
	女性	円	年	月	円	円

【パートタイマーを雇用している事業所のみ】

◆パートタイム労働者の諸制度について、実施しているものをおたずねします。
（○印はいくつでも）

1. 賞与 3. 健康診断 5. 家族手当（扶養手当） 7. 社会保険への加入
2. 退職金 4. 通勤手当 6. 正社員への昇格制度

[労働基本調査票・10]

6 福利厚生制度

〔問35〕 郡山市勤労者互助会についておたずねします。（○印は一つだけ）

1. 知っている 2. 知らない

〔 ※ 郡山市勤労者互助会とは、郡山市内の中小企業で働く勤労者と事業主の皆さまを対象に、各種福利厚生事業を行い、ゆとりと働きがいのある職場づくりのお手伝いをしています。詳しくは、別紙のパンフレットをご覧ください。 〕

〔問36〕 以下の福利厚生制度で実施しているものをおたずねします。（○印はいくつでも）

1. 年金制度の導入 4. 郡山市勤労者互助会への加入
 2. 健康診断、人間ドックの実施 5. 会社独自の福利厚生制度（貸付制度等）の導入
 3. 心の健康管理に関する取り組みの実施

7 ポジティブアクション（男女格差解消のための積極的取り組み）について

〔 ※ ポジティブアクション（積極的改善措置）とは、採用や管理職登用などで、男女間に事実上の格差がある場合に、これを解消するために設けられている一定枠の暫定的な特別措置をいいます。 〕

〔問37〕 大卒標準労働者（大卒後、直ちに企業に入社し、同一企業に継続して勤務している労働者）が、入社から昇給・昇格していくときに、実態として男女間で差がありますか。

（○印は一つだけ）

1. 男性の方が女性よりはやく昇給・昇格する者が多い
 2. 女性の方が男性よりはやく昇給・昇格する者が多い
 3. 男女とも変わらない
 4. 把握していない
 5. 対象となる女性（男性）労働者がいないので比較できない

→【男女間で差がある（問37で1または2に○をした）事業所のみ】

◆男女間の差は入社何年目頃から出始めますか（○印は一つだけ）

1. 入社してから5年目まで 5. 管理職に昇進するとき
 2. 入社してから6～10年目まで 6. その他（ ）
 3. 入社してから11～15年目まで 7. 分からない
 4. 入社してから16～20年目まで

〔問38〕 平成26年9月末における常用労働者のうち、男女別、年齢別の管理職の人数についておたずねします。（数値を記入）

	係長相当職		課長相当職		部長相当職	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
30歳未満	人	人	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人	人	人
60歳以上	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人

常用労働者以外の管理職がいる場合は、雇用形態（臨時・パートタイマー）、階級（係長相当・課長相当・部長相当）、性別、年齢、人数を記入してください。

〔問39〕 女性の活用に当たっての課題についておたずねします。(○印はいくつでも)

1. 女性の勤務年数が平均的に短い
2. 家庭での責任を考慮する必要がある
3. 一般的に女性は職業意識が低い
4. 顧客や取引先を含め社会一般の理解が不十分である
5. 上司や同僚の男性の認識、理解が不十分である
6. 時間外労働、深夜業をさせにくい
7. 女性のための就業環境の整備にコストがかかる
8. 重量物の取り扱いや危険有害業務など、法制上の制約がある
9. 女性の活用方法が分からない
10. その他 ()
11. 特になし

〔問40〕 過去1年間で職務能力向上のための教育研修の参加延べ人数についておたずねします。

(数値を記入)

	男性	女性		男性	女性
管理職	人	人	一般	人	人

〔問41〕 以下のようなポジティブアクション(男女格差解消のための積極的取り組み)を行っていますか。(○印はいくつでも)

1. ポジティブアクション推進計画を作成
2. 女性採用の拡大
3. 女性がない、または少ない職種、職域への女性の配置の拡大
4. 女性労働者について、男性と同様の教育訓練・研修の実施
- 5.ロッカー、休憩室、トイレ等の施設整備による女性が働きやすい職場づくり
6. 女性管理職の増加
7. 仕事と家庭の両立支援による女性の勤続年数の伸張
8. セクシュアル・ハラスメント防止等の従業員の意識啓発の研修
9. 女性労働者のための苦情処理機関、相談窓口等の設置

〔問42〕 結婚、出産、育児等による退職者に対して、再雇用制度がありますか。(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない 3. 検討中

【「ある」と答えた事業所のみ】

◆過去1年間の利用人数は(数値を記入)

常用		男性	女性
内 訳	正規の職員・従業員	人	人
	正規の職員・従業員以外	人	人
臨時		人	人
パートタイマー		人	人

〔問43〕 従業員に、セクシュアル・ハラスメントの防止を周知していますか。(○印は一つだけ)

1. いる 2. いない

〔問44〕 職場内にセクシュアル・ハラスメントに関する相談員を設置していますか。

(○印はいくつでも)

1. いる(男性相談員) 2. いる(女性相談員) 3. いない

【「いる」と答えた事業所のみ】

◆過去1年間の利用人数は(数値を記入) 件

[労働基本調査票・12]

〔問45〕 女性のみ適用される職場制度や慣行がある場合、記入してください。

--

8 市への要望について

〔問46〕 雇用支援や働きやすい職場環境づくりに関して、市に対する要望等がありますか。
(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない

↓
【「ある」と答えた事業所のみ】

◆具体的なご要望をおたずねします (○印はいくつでも)

1. 就職者に対する就職相談窓口の充実
2. 試用雇用の推進・支援 (試用期間の給与に対する助成等)
3. 雇用維持に係る賃金に対する助成の拡充
4. 中高年者の雇用確保・維持に係る賃金に対する助成の拡充
5. 保育施設の充実、育児休暇取得に係る助成の拡充
6. 雇用者の資格・技能取得に対する支援
7. 事業所への融資制度の充実
8. 雇用に関する情報提供の充実
9. その他

↓ 具体的なご要望の内容をおきかせください

()

《特別調査》

9 原子力災害の影響

〔問47〕 東日本大震災以降、労働環境に変化がありますか。(○印は一つだけ)

1. ある 2. ない

↓
【「ある」と答えた事業所のみ】

◆どのような変化がありましたか (○印はいくつでも)

1. 新規採用者の雇用が出来ていない
2. 労働者の確保が困難になっている
3. 時間外勤務が増えた
4. 売上減少により給与等をカットした
5. 雇用者を増やした
6. 人手不足をふせぐため待遇を改善した
7. その他 ()

————— 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 —————

～メールマガジン“ワーキンGood!”登録者募集中～

郡山市では、各事業所に対して、各種助成金制度や関係法令等の情報を年4回メールマガジンにより発信しています。登録をご希望される場合は、メールアドレスをご記入ください。

メールアドレス	
---------	--